

三井住友アセットマネジメント株式会社 営業企画部
東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 28 階 〒105-6228
Tel. 03-5405-0555 Fax. 03-5405-0666 <http://www.smam-jp.com>

ユニバーサルデザイン導入のお知らせ

～わたしたちは、多くの方々にとって読みやすく、わかりやすい書類作成を追求します～

三井住友アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 横山 邦男、以下「当社」）は、このたび、交付目論見書および交付運用報告書等を、ユニバーサルデザインに配慮してリニューアルすることをお知らせいたします。

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての人にとって使いやすく配慮されたデザインのことを指します。

当社では、「フィデューシャリー・デューティー宣言」の具体的な施策（注）に基づいて、「わかりやすい目論見書、報告書の作成」のため、ユニバーサルデザインに配慮した書面へリニューアルすることといたしました。

具体的には、12月中旬以降の交付目論見書、および10月決算分の交付運用報告書等からユニバーサルデザインに配慮した書類を発行してまいります。

今後も、多くのお客さまにとって読みやすさ、わかりやすさを追求した書類作りにより、お客さまの満足度向上に結び付くよう、引き続き努力をしてまいります。

当社は、お客さまの安定的な資産形成とリスクマネーの適切な供給による経済発展に貢献すべく、資産運用業の変革に挑戦してまいります。

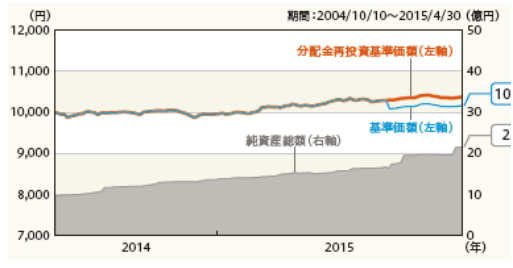
注：同宣言および施策であるアクションプランの詳細については、下記ホームページをご参照

<http://www.smam-jp.com/company/fiduciary/index.html>



記

◆デザイン変更概要（交付目論見書の例）

1. 全体的な変更

<p>①ユニバーサルデザインフォントの採用</p>	<p style="text-align: center;"><ゴシック体> <UDゴシック体></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><th>決算期</th></tr> <tr><td>2014年10月</td></tr> <tr><td>2014年 9月</td></tr> <tr><td>2014年 8月</td></tr> </table> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</div> <table border="1"> <tr><th>決算期</th></tr> <tr><td>2015年10月</td></tr> <tr><td>2015年 9月</td></tr> <tr><td>2015年 8月</td></tr> </table> </div>	決算期	2014年10月	2014年 9月	2014年 8月	決算期	2015年10月	2015年 9月	2015年 8月	<p>「見やすく」「読み間違えにくい」ユニバーサルデザインフォントを全ページに使用しています。 文字サイズ、行間等にも配慮し、見やすい工夫をしています。</p>
決算期										
2014年10月										
2014年 9月										
2014年 8月										
決算期										
2015年10月										
2015年 9月										
2015年 8月										
<p>②カラーユニバーサルデザインに配慮</p>		<p>色覚の個人差等を問わず、できるだけ多くの方に情報が伝わるよう、配色に配慮して作成しています。</p>								

2. 表紙デザイン・レイアウトの変更

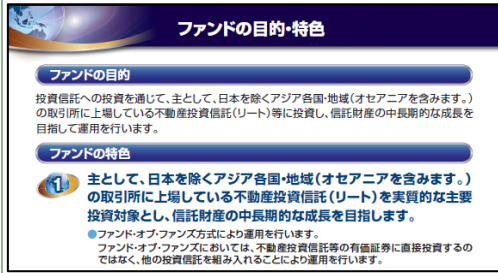
<p>①表紙識別カラー設定</p>	<p>【表示例】 <前回分></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 投資信託説明書(交付目論見書) 使用開始日: 2015年12月11日 </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin: 0 10px;">↕</div> <p style="text-align: center;"><今回分></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 投資信託説明書(交付目論見書) 使用開始日: 2015年●月●日 </div>	<p>今回改版分と前回改版分の交付目論見書を見分けるため、表紙右上デザイン・色を交互に変更して作成し、販売会社様の資料入れ替え作業のご負担の軽減に努めます。</p>
<p>②表紙レイアウト変更</p>	<p>●表紙上部に「書類の種類」「ファンド名」を配置し、販売会社様の陳列ラック等で書類・ファンドを識別しやすくします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p style="color: orange;"><リニューアル前></p>  </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p style="color: blue;"><リニューアル後></p>  </div> </div>	

3. 「ファンドの特色」ページのデザイン・レイアウト変更

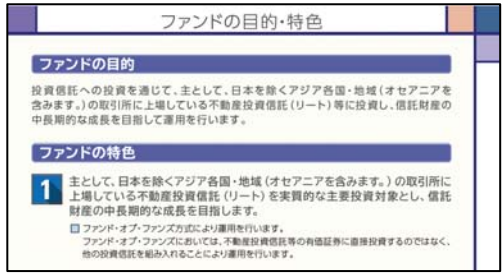
① ページデザイン変更

- ページの左右に余白を設けたデザインにして、違和感なく1行の文字数を減らして可読性を高めています。
- 背景色には目が疲れにくいクリーム色を用いています。

<リニューアル前>



<リニューアル後>



② ページ位置変更

- 目次・ページ数を左右に配置することにより、あらゆる場面でお客さまとお話しやすい紙面としています。

<リニューアル前>



<リニューアル後>



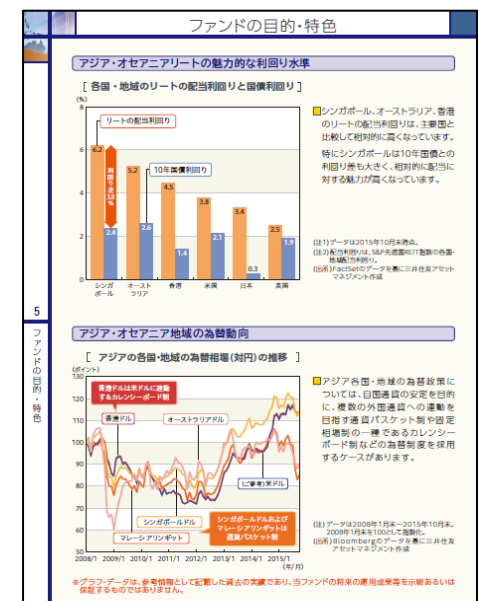
③ 市況データ等のレイアウト変更

- 文字情報とグラフ等を可能な限りセットで配置し、レイアウトに余裕を持たせた構成にすることにより読みやすくしています。

<リニューアル前>



<リニューアル後>



④ 収益分配金に関する留意事項

※ 変更対象は毎月・隔月分配型のファンド以外（既に協会ルールの図を記載済みであるため）の全ファンド

● 収益分配金に関する留意事項の記載を「投資リスク」から「分配方針」のページに移動し、イメージ図を追加することでお客様に分配金に関する情報をわかりやすく伝えます。

<リニューアル前>

分配方針

年2回（原則として毎年3月および9月の26日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。

<リニューアル後>

分配方針

- 年2回（原則として毎年3月および9月の26日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、積貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相対、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

ファンドの純資産

- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入金額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

4. 「投資リスク」ページのデザイン・レイアウト変更

① ピクトグラムの採用

※ 右はピクトグラムの一例です

● 文字量の多いページで、なるべく目を止めていただけるよう「ピクトグラム（絵文字）」を配置しています

ピクトグラム作成例



② リスク内容の要約を記載

● リスク名称に、リスク内容のサマリーを記載し、文章をすべて読まなくとも一定の理解をしていただけるよう配慮しています。

● 「価格変動リスク」をひとつのまとまりとし、組み入れている資産の価格変動リスクとそれ以外のリスクをわかりやすく区別します。なお、各リスクの記載内容自体には変更はありません。

<リニューアル前>

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託は、主として海外の不動産投資信託を投資対象としており、その価格は、保有する不動産投資信託の価格の増減、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等による海外の不動産市場の急激な変化、為替相場の変動等により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の上下により損失を被り、投資元本が減少することがあります。

運用の結果としてファンドに発生した利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは「期待どおり」の投資元本が保たれていないものも含まれ、一定の投資成果を保証するものではありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

- 不動産投資信託（リート）に関するリスク**
リートの価格は、不動産市場や金利・為替変動、賃貸法制度（税制、建築規制、会計制度等）の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み込まれている個々の不動産等の市場価値、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等による海外の不動産市場の急激な変化、為替相場の変動等により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の上下により損失を被り、投資元本が減少することがあります。
- 為替変動リスク**
投資対象である外国投資信託において、外国為替相場が変動する場合があります。為替変動による影響を受け、海外資産の価格が円換算ベースで上昇する場合があります。また、為替変動により円換算ベースでの評価損益が下落する場合があります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する原因となります。
- 信用リスク**
ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これはファンドの基準価額が下落する原因となります。
- カントリーリスク**
海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行国に起因するリスクのほか、投資先の政治・経済・社会情勢の急激な変化、為替相場の変動等により、投資元本が減少する場合があります。また、投資先の政治・経済・社会情勢の急激な変化、為替相場の変動等により、投資元本が減少する場合があります。また、投資先の政治・経済・社会情勢の急激な変化、為替相場の変動等により、投資元本が減少する場合があります。
- 市場流動性リスク**
ファンドの資金出入りに伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場が急激に流動性に乏しくなると、市場価格の急小や市場の閉鎖が生じた場合には、必要な取引ができなくなったり、市場よりも不利な価格での取引を必要とすることがあります。これはファンドの基準価額が下落する原因となります。

<リニューアル後>

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託は、主として海外の不動産投資信託を投資対象としており、その価格は、保有する不動産投資信託の価格の増減、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等による海外の不動産市場の急激な変化、為替相場の変動等により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の上下により損失を被り、投資元本が減少することがあります。

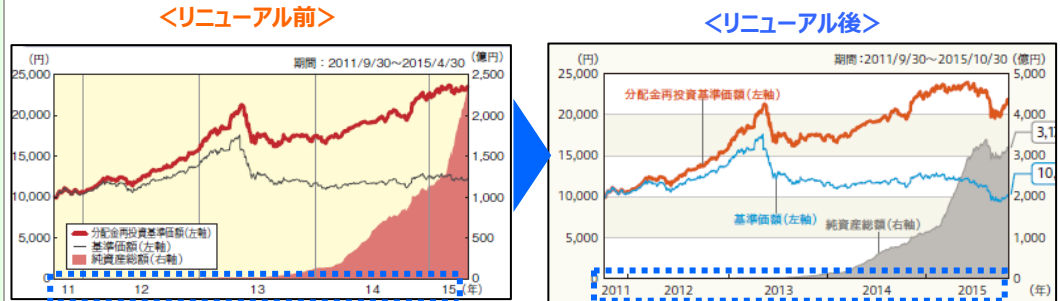
運用の結果としてファンドに発生した利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは「期待どおり」の投資元本が保たれていないものも含まれ、一定の投資成果を保証するものではありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

- 価格変動リスク**
不動産投資信託（リート）に関するリスク…リートの価格の下落は、基準価額の下落要因です。
リートの価格は、不動産市場や金利・為替変動、賃貸法制度（税制、建築規制、会計制度等）の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み込まれている個々の不動産等の市場価値、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等による海外の不動産市場の急激な変化、為替相場の変動等により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の上下により損失を被り、投資元本が減少することがあります。
- 信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です**
ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これはファンドの基準価額が下落する原因となります。
- 為替変動リスク…円高は基準価額の下落要因です**
投資対象である外国投資信託において、外国為替相場が変動する場合があります。為替変動による影響を受け、海外資産の価格が円換算ベースで上昇する場合があります。また、為替変動により円換算ベースでの評価損益が下落する場合があります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する原因となります。
- カントリーリスク…投資先の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です**
海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行国に起因するリスクのほか、投資先の政治・経済・社会情勢の急激な変化、為替相場の変動等により、投資元本が減少する場合があります。

5. 「運用実績」ページのデザイン・レイアウト変更

① グラフ西暦表示変更

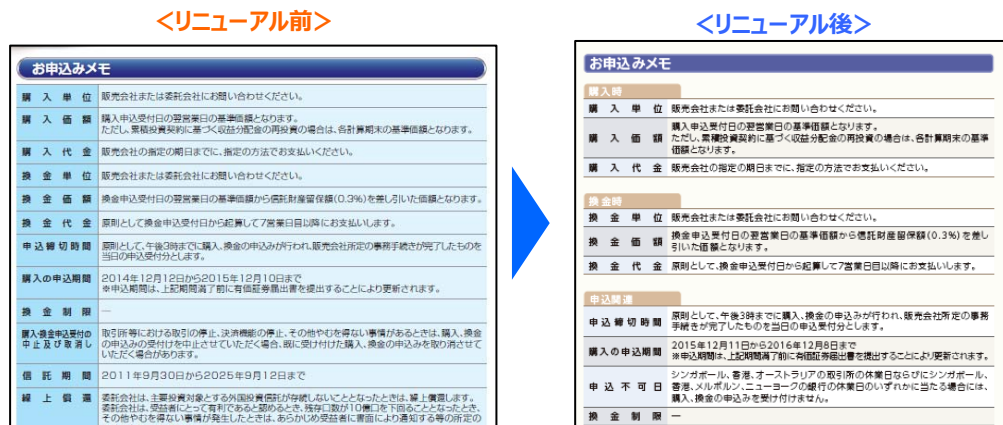
● 西暦表示を下2桁⇒4桁にすることにより、和暦との混同を避け、読み取りやすくしています。



6. 「お申込みメモ」ページのデザイン・レイアウト変更

① タブ形式レイアウトの採用

● 「お申込みメモ」および「ファンドの費用・税金」ページをイベント内容ごとのタブ形式とすることで見やすくしています。



◆ 開示内容の継続性について

今回の変更箇所は、ユニバーサルデザイン化に伴うレイアウト変更等の見た目の部分となります。「ファンドの特色」、「投資リスク」、「お申込みメモ」等の記載内容そのものの変更ではありません。

◆ 他の資料について

今回、ユニバーサルデザイン化に取り組んでおりますのは交付目論見書と交付運用報告書となりますが、販売用資料につきましても見やすいグラフ等、今後順次取り組んでまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井住友アセットマネジメント株式会社

営業企画部

前橋 Tel.03-5405-0212

木村 Tel.03-5405-3209

三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 399 号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会